



石算研だより

2023年5月18日(木) No.1
石教研算数部会事務局
文責：事務局長 山崎 敬乃
(恵庭市立島松小)

これまでの研究を土台に、協働的に学ぶ姿を

石教研算数部会部長

高橋 緩

今年度より部長を務めさせていただくことになりました恵庭市立恵み野旭小学校の高橋です。よろしくお願い申し上げます。昨年度までの3年間の研究は、コロナ禍の中での制約のある活動を余儀なくされましたが、皆様のご協力のもと、授業動画とリモートでの研究協議により多くの成果と課題を得ることができました。ご協力に大変感謝致します。今年度も、これまで通り部会員の皆様や各市町村研究サークルのご理解・ご協力を頂きながら、部会運営を努めていきたいと思っております。

さて、今年度より、研究主題を「課題解決に自ら向かう子の育成～数学的な見方・考え方を働かせる学びを通して～」と改め、研究をスタートしました。2年次計画の1年目です。これからの2年間、部会員の皆様と“課題解決に自ら向かう子どもたちの姿”を目指していくこととなります。そのために、これまでの研究(子どもたち1人ひとりに「問い」を持たせ、「発想の源」を明らかにして見方・考え方を共有させていく)を、より目的を明確に、より効果的な場面で取り入れることを土台とした上で、課題解決に向かう子どもたちの中に「協働的に学ぶ姿」が見られる授業づくりに取り組んでいきたいと考えます。協働的に学ぶ姿を授業中の子どもたちの様子に置き換えると、課題を前にして「友達の考えを聞きに行っている」「どうしてそうなるの?とお互いに問い返している」「お互いの疑問を解消しながら解決に向かっている」「友達の考えを聞いた後、もう一度解き直している」などが考えられますが、これらは一例に過ぎませんし、よりよい姿があるかもしれません。また、『令和の日本型学校教育(R3中教審答申)』が示している通り、研究の今後の展望として、学習形態の工夫、指導過程(単元全体の構成も含む)の工夫、ICTの効果的な活用についても模索していく必要があります。部会員の皆様におかれましては、先日お配りした冊子をお読みになり、研究内容を意識した日常の実践を大切にさせていただきたいと思っております。各市町村で試行錯誤を積み重ねた実践を10月の研究協議会で持ち寄っていただき、成果と課題について皆さんで検討・協議することで、今年度からの研究が先生方や子どもたちにとって、実り多いものになることを願っています。

今年度はコロナにおける様々な制約が緩和されていくことが予想されますが、引き続き今できる最大限のことを役員一同で考え、取り組んでいきたいと考えています。部会員の皆様もご協力のほど宜しくお願い致します。

2023年度 石算研役員 よろしくお願い致します!

役職	氏名	勤務校	役職	氏名	勤務校
部長	高橋 緩	恵庭市立恵み野旭小	教育課程委員(兼HP担当)	畑中 匠	江別市立文京台小
副部長	紺野 丈	当別町立とうべつ学園	教育課程委員	鈴木 彩華	石狩市立花川南小
事務局長	山崎 敬乃	恵庭市立島松小	教育課程委員	成田 将樹	千歳市立桜木小
事務局次長	大山 信行	石狩市立花川南小	教育課程委員	豊嶋 真美	江別市立中央小
研究員	横山 拓也	北広島市立北の台小	教育課程委員	八木橋 征哉	石狩市立南線小
教育課程代表	久保田 健一	江別市立江別第一小			

お知らせ①

【石算研 実技・理論研修会】

日時：8月17日(木) 15:00～

講師：加固 希支男 氏

(東京学芸大学附属 小金井小 教諭)

会場：北広島市立北の台小学校

お知らせ②

【GoogleWorkspaceの活用について】

Google アカウント登録のご協力ありがとうございました。指導案の雛型や評価や研究に関わる資料など、部会員の皆様が活用しやすいよう準備を進めています。準備が整いましたらご連絡いたします。

Google アカウント登録のフォームは5月2日で終了致しました。アカウントに関わるお問い合わせは事務局山崎まで直接ご連絡いただきますよう、よろしくお願い致します。